



平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トラスト・テック

コード番号 2154 URL <http://www.trust-tech.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO

(氏名) 小川毅彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 村井範之

TEL 03-5777-7727

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	4,810	20.0	232	△9.2	239	△10.2	142	△10.9
26年6月期第1四半期	4,009	7.9	256	111.0	266	99.7	160	110.2

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 143百万円 (△10.9%) 26年6月期第1四半期 160百万円 (107.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	14.93	14.76
26年6月期第1四半期	16.85	16.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第1四半期	5,799	3,699	63.8
26年6月期	6,455	3,832	59.4

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 3,699百万円 26年6月期 3,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	20.00	—	30.00	50.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	25.00	—	35.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年6月期第2四半期末配当金20円00銭の内訳: 普通配当金10円00銭 記念配当金10円00銭(東証第二部市場変更記念配当)

平成26年6月期期末配当金30円00銭の内訳: 普通配当金20円00銭 記念配当金10円00銭(東証第一部銘柄指定記念配当)

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,027	19.1	655	4.9	660	2.6	396	2.3	41.42
通期	22,000	24.7	1,780	37.8	1,800	36.5	1,080	35.4	112.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期1Q	9,572,500 株	26年6月期	9,558,500 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年6月期1Q	42 株	26年6月期	42 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期1Q	9,564,415 株	26年6月期1Q	9,515,985 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予想に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年7月1日～平成26年9月30日）におけるわが国経済は、政府の経済政策の効果もあり、企業収益の改善に伴う設備投資意欲や雇用情勢が改善され、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、世界経済では新興国の成長率の陰りや地域紛争など不安定要素や国内では消費税率の引き上げに伴う個人消費の冷え込みなどの影響もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く人材サービス業においては、業種や地域により偏りがあるものの顧客企業の人材ニーズは総じて高く、引き合いが増加する一方、有効求人倍率の上昇に示される通り、採用環境は厳しさを増しました。

これに対し、当社グループは期初より営業拠点の開設をすすめ、営業・採用の体制強化、求人費等の増強、研修設備の拡充、人材紹介事業や海外事業の組織強化など、先行的かつ積極的に投資を行いました。これにより社員数は増加し、売上高は引き続き伸長となりましたが、先行投資が当第1四半期連結累計期間に集中していることもあり、利益面では前年同期比の実績を下回ることになりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は4,810百万円（前年同期比20.0%増）、営業利益は232百万円（前年同期比9.2%減）、経常利益は239百万円（前年同期比10.2%減）、四半期純利益は142百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

なお、これらは平成26年8月8日に開示しました連結業績予想の想定範囲内であり、今後は売上高の伸びと販管費率の低下により利益率が向上する見込みです。

セグメント別の業績の概要は、次のとおりです。

（技術者派遣・請負・委託事業：株式会社トラスト・テック、香港虎斯科技有限公司）

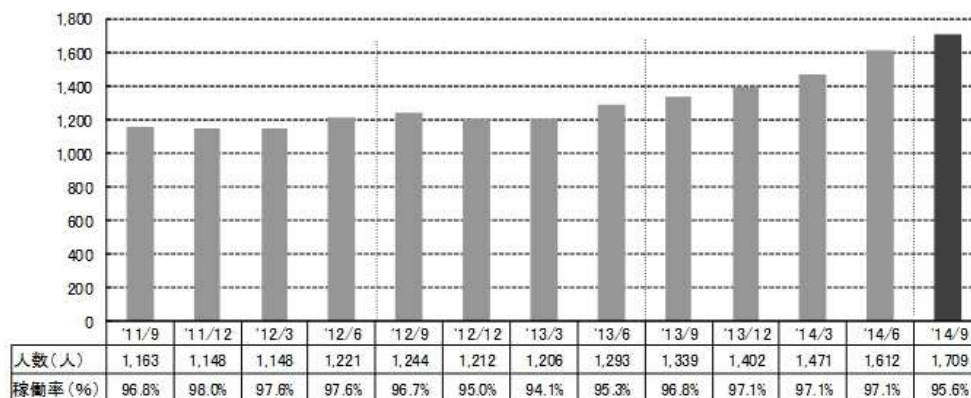
当セグメントは、研究開発、設計、生産技術などの技術分野に対する派遣・請負・委託の事業を領域としております。

当第1四半期連結累計期間においては、技術者に対するニーズは強く、とりわけ輸送用機器関連企業における設計関係の技術者ニーズは引き続き高い状況で推移しました。また、半導体製造装置メーカーを主に電気機器業界の人材需要が徐々に回復しており、これらの分野における技術社員数が増加いたしました。

平成26年9月末時点の当セグメントに従事する社員数は、前期末からは97名増員の1,709名（前年同期末比370名増）となりました。

利益に関しては、技術社員の給与等の実質的なベースアップを積極的に行い、営業及び採用拠点の開設や研修設備の増強などの先行投資と、本社移転に伴う費用が集中したことにより、前年同期比で微減となりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は2,775百万円（前年同期比28.1%増）、セグメント利益は200百万円（前年同期比1.7%減）となりました。



※ 人数:月末技術者数 稼働率:月末日における「就業先がある技術者数」÷「技術者数」

なお、人数には当該セグメント売上計上分に対応したコンサルタント業務委託先の技術者数を含んでおります。

（製造請負・受託・派遣事業：株式会社T T M）

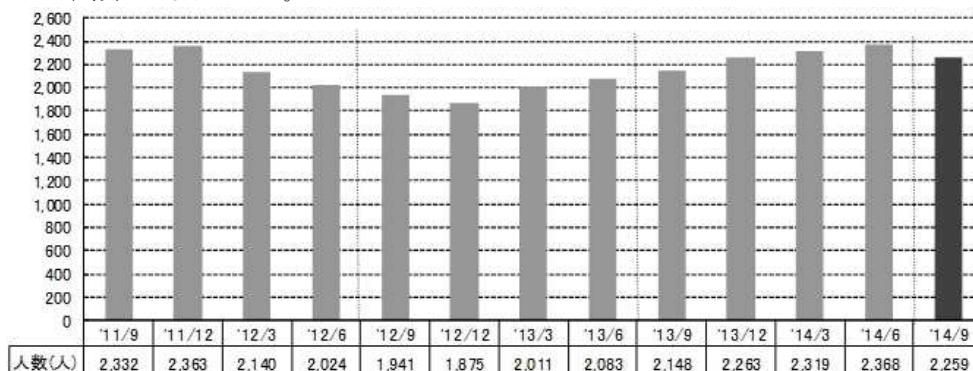
当セグメントは、顧客企業の製造工程等における請負・受託・派遣の事業を領域としております。

当第1四半期連結累計期間においては、電気機器関連企業の復調や、建材・住宅関連企業における増産が技能社員の配属に寄与しましたが、一部の顧客企業における減産と派遣抵触日到来により減員となりました。

平成26年9月末時点の当セグメントに従事する社員数は、前期末からは109名減員の2,259名（前年同期末比111名増）となりました。

利益に関しては、前年同期比で、自動車メーカーに対する人材紹介の件数が減少したことに加え、技能社員の手当等を強化したことにより利益率が低下いたしました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は2,019百万円（前年同期比10.5%増）、セグメント利益は39百万円（前年同期比32.4%減）となりました。



※ 人数：月末技能労働者数 当セグメントは有期雇用契約が多数を占めるため稼働率は実質100%です。

(障がい者雇用促進事業：共生産業株式会社)

厚生労働大臣の許可を受けた当社グループの特例子会社である共生産業株式会社は、当社が神奈川県相模原市に保有する賃貸不動産内のテナント事務所の清掃や地元企業からの軽作業などの業務を請負っております。

当該子会社は、障がい者と健常者が役割分担をしながら共に協力して働けるよう職場環境を整備して障がい者の雇用促進に努め、恒常的に法定雇用率を上回る水準を維持しております。

当第1四半期連結累計期間における売上高は7百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント損失は3百万円（前年同期はセグメント利益0.6百万円）となりました。

(不動産賃貸事業：株式会社トラスト・テック)

神奈川県相模原市に保有する賃貸不動産の入居率は、従前どおり高い水準を維持いたしました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は13百万円（前年同期と同額）、セグメント利益は3百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産

(資産)

流動資産の残高は、4,605百万円（前連結会計年度末は5,283百万円）となり、677百万円減少いたしました。

主たる変動項目は、現金及び預金（前連結会計年度末比632百万円減）、受取手形及び売掛金（前連結会計年度末比13百万円減）でその他（繰延税金資産等）で31百万円減少いたしました。

固定資産の残高は、1,193百万円（前連結会計年度末は1,172百万円）となり、21百万円増加いたしました。

主たる変動項目は、有形固定資産（前連結会計年度末比45百万円増）、無形固定資産（前連結会計年度末比7百万円減）、投資その他の資産（前連結会計年度末比16百万円減）です。

この結果、資産合計は、5,799百万円（前連結会計年度末は6,455百万円）となり、655百万円減少いたしました。

(負債)

流動負債の残高は、2,063百万円（前連結会計年度末は2,584百万円）となり、521百万円減少いたしました。

主たる変動項目は、未払費用（前連結会計年度末比365百万円減）、未払法人税等（前連結会計年度末比340百万円減）、未払消費税等（前連結会計年度末比21百万円減）、賞与引当金（前連結会計年度末比200百万円増）です。

固定負債の残高は、36百万円（前連結会計年度末は38百万円）となり、1百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は2,099百万円（前連結会計年度末は2,622百万円）となり、523百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産は3,699百万円（前連結会計年度末は3,832百万円）となり、132百万円減少いたしました。

主たる変動項目は利益剰余金であり、四半期純利益（142百万円）の増加と前期末配当金（286百万円）の減少です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月8日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,429,972	1,797,034
受取手形及び売掛金	2,388,728	2,375,459
その他	464,660	433,211
流動資産合計	5,283,361	4,605,705
固定資産		
有形固定資産	193,996	239,585
無形固定資産		
その他	145,318	138,257
無形固定資産合計	145,318	138,257
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	584,262	582,689
その他	248,479	233,309
投資その他の資産合計	832,742	815,999
固定資産合計	1,172,057	1,193,841
資産合計	6,455,419	5,799,547
負債の部		
流動負債		
未払費用	1,447,564	1,082,287
未払法人税等	356,055	15,508
未払消費税等	356,383	335,313
賞与引当金	134,734	335,030
その他	290,117	294,991
流動負債合計	2,584,855	2,063,131
固定負債		
退職給付に係る負債	5,854	5,955
その他	32,282	30,531
固定負債合計	38,137	36,487
負債合計	2,622,992	2,099,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,492,690	1,498,290
資本剰余金	650,175	655,775
利益剰余金	1,694,840	1,550,891
自己株式	△32	△32
株主資本合計	3,837,673	3,704,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	10
為替換算調整勘定	△5,250	△5,005
その他の包括利益累計額合計	△5,247	△4,994
純資産合計	3,832,426	3,699,929
負債純資産合計	6,455,419	5,799,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,009,161	4,810,086
売上原価	3,055,760	3,731,451
売上総利益	953,401	1,078,634
販売費及び一般管理費	696,877	845,648
営業利益	256,524	232,986
営業外収益		
受取利息	175	223
助成金収入	9,652	3,330
為替差益	-	2,646
その他	1,222	394
営業外収益合計	11,050	6,595
営業外費用		
支払利息	81	62
為替差損	625	-
その他	79	-
営業外費用合計	786	62
経常利益	266,788	239,519
特別損失		
支払負担金	-	5,825
特別損失合計	-	5,825
税金等調整前四半期純利益	266,788	233,694
法人税、住民税及び事業税	46,976	7,727
法人税等調整額	59,460	83,162
法人税等合計	106,436	90,889
少数株主損益調整前四半期純利益	160,351	142,804
四半期純利益	160,351	142,804

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	160,351	142,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	7
為替換算調整勘定	160	245
その他の包括利益合計	160	252
四半期包括利益	160,511	143,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,511	143,056

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	技術者派遣・請負・委託事業	製造請負・受託・派遣事業	障がい者雇用促進事業	不動産賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,166,979	1,826,892	2,054	13,235	4,009,161	—	4,009,161
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	5,405	462	5,867	△5,867	—
計	2,166,979	1,826,892	7,459	13,697	4,015,029	△5,867	4,009,161
セグメント利益	203,881	58,164	648	4,093	266,788	—	266,788

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	技術者派遣・請負・委託事業	製造請負・受託・派遣事業	障がい者雇用促進事業	不動産賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,775,494	2,019,072	2,284	13,235	4,810,086	—	4,810,086
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	5,407	462	5,869	△5,869	—
計	2,775,494	2,019,072	7,691	13,697	4,815,955	△5,869	4,810,086
セグメント利益又は損失(△)	200,314	39,301	△3,935	3,838	239,519	—	239,519

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。